



第6章

計画の
推進に向けて

第6章 計画の推進に向けて

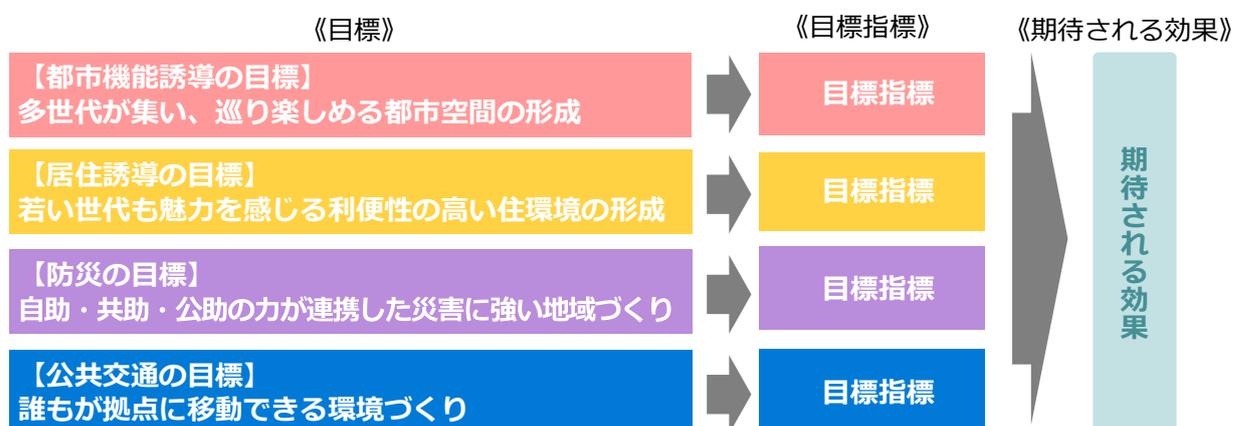
本章では、計画に基づく取組の達成状況やその効果を評価するための指標を設定するとともに、計画の進行管理について位置付けます。

1 指標の設定

(1) 指標の基本的な考え方

指標は、本計画の目標に基づく施策等の効果を確認できるものであることが必要です。

そこで、4つの目標と対応した目標指標を設定し、目標を達成することによって期待される効果を以下のとおり設定します。



(2) 指標の設定

1) 都市機能誘導の目標指標

指標	現状値 令和4年度 (2022年度)	中間目標値 令和14年度 (2032年度)	目標値 令和24年度 (2042年度)
誘導施設の立地割合	60%	80%	100%

【指標の説明】

- ・都市機能誘導区域内の魅力向上や誘導施設の立地促進に向けた支援制度の活用等により、都市機能誘導区域内の誘導施設が維持・誘導されているかを確認。
- ・2つの都市機能誘導区域に設定した全ての誘導施設に対する、立地している誘導施設の割合（同じ都市機能誘導区域内で同じ分類の誘導施設が複数建っている場合は1とカウント）。

指標	現状値 令和3年度 (2021年度)	中間目標値 令和14年度 (2032年度)	目標値 令和24年度 (2042年度)
駅周辺で週1回以上の買物や飲食を行う市民の割合	56%	67%	75%

【指標の説明】

- ・スーパーマーケットや飲食店などの誘導施設が立地することで、駅周辺で週1回以上の買物や飲食を行う市民の割合が増加したかを確認。
- ・市民意識調査（第6次白岡市総合振興計画基礎調査）で「白岡駅、新白岡駅周辺（駅から500m圏内）でどのくらいの頻度で買物や飲食をしているか」について「週3回以上」「週2回程度」「週1回程度」と回答した市民の割合。

指標	現状値 令和3年度 (2021年度)	中間目標値 令和14年度 (2032年度)	目標値 令和24年度 (2042年度)
都市計画道路の整備率	67%	77%	83%

【指標の説明】

- ・拠点周辺へのアクセス性や巡り楽しめる都市空間の形成を図るため、都市計画道路（市道）の整備を進め、歩道の整備率が上がったかを確認。

2) 居住誘導の目標指標

指標	現状値 令和2年度 (2020年度)	中間目標値 令和14年度 (2032年度)	目標値 令和24年度 (2042年度)
居住誘導区域内の人口密度	80人/ha	79人/ha	78人/ha

【指標の説明】

- ・市全体の人口は減少傾向にあるものの、居住誘導区域内が利便性の高い環境になることで、居住誘導区域内の人口密度が維持されているかを確認。（目標値の確認は、令和22年（2040年）国勢調査の数値を利用）

指標	現状値 令和2年度 (2020年度)	中間目標値 令和14年度 (2032年度)	目標値 令和24年度 (2042年度)
居住誘導区域内における生産年齢人口（15～64歳）の割合	62%	60%	57%

【指標の説明】

- ・高齢化の進展により、令和27年（2045年）の生産年齢人口の割合は、54%になる見通しとなっているため、快適な居住環境の形成により、居住誘導区域内に移り住む人が増え、人口構成バランスが維持されているかを確認。（目標値の確認は、令和22年（2040年）国勢調査の数値を利用）

指標	現状値 令和 4 年度 (2022 年度)	中間目標値 令和 14 年度 (2032 年度)	目標値 令和 24 年度 (2042 年度)
若い世代の転入超過数	120 人	119 人	115 人

【指標の説明】

- ・ 快適な居住環境が形成されることで若い世代が魅力を感じ、人口減少下にあっても、若い世代の転入超過数が維持されたかを確認。
- ・ 総務省の住民基本台帳人口移動報告における 0～39 歳までの若い世代の転入超過数（市の転入者数から転出者数を差し引いた数）。

3) 防災の目標指標

指標	現状値 令和 3 年度 (2021 年度)	中間目標値 令和 14 年度 (2032 年度)	目標値 令和 24 年度 (2042 年度)
自主防災組織の組織率	80%	100%	100%

【指標の説明】

- ・ 居住誘導区域内の災害リスクの周知等により、防災に関する意識の向上が図られ、自主防災組織の組織率が増加しているかを確認。
- ・ 市内全世帯数に占める自主防災組織構成世帯数の割合。

指標	現状値 令和 4 年度 (2022 年度)	中間目標値 令和 14 年度 (2032 年度)	目標値 令和 24 年度 (2042 年度)
一時避難ビルの指定等、民間施設等の避難場所の協力に関する協定数	0 件	10 件	15 件

【指標の説明】

- ・ 水害等の災害リスクの高いエリアをはじめとした地域において、民間企業と災害時の避難場所の協力に関する協定を結んだ件数を確認。

4) 公共交通の目標指標

指標	現状値 令和 3 年度 (2021 年度)	中間目標値 令和 14 年度 (2032 年度)	目標値 令和 24 年度 (2042 年度)
公共交通利用者満足度	20%	40%	59%

【指標の説明】

- ・拠点周辺と各地域をつなぐ公共交通の充実により、路線バスや鉄道の利用者の満足度が向上するかを確認。
- ・市民意識調査（第 6 次白岡市総合振興計画基礎調査）で公共交通全体に「満足している」「やや満足している」と回答した市民の割合。

指標	現状値 平成 30 年度 (2018 年度)	中間目標値 令和 14 年度 (2032 年度)	目標値 令和 24 年度 (2042 年度)
高齢者の外出率	56%	57%	58%

【指標の説明】

- ・円滑な移動環境の充実や拠点周辺の移動環境が改善することにより、高齢者の外出率が向上したかを確認。
- ・東京都市圏パーソントリップ調査における 65 歳以上の高齢者の外出率。

5) 期待される効果

期待される効果	現状値 令和 3 年度 (2021 年度)	中間目標値 令和 14 年度 (2032 年度)	目標値 令和 24 年度 (2042 年度)
居住環境に満足する 市民の増加	53%	65%	75%

【指標の説明】

- ・4 つの目標指標が達成されることにより、住みやすさが向上し、居住環境に満足する市民の割合が、現状値の 53%（令和 3 年（2021 年））よりも向上するか確認。
- ・市民意識調査（第 6 次白岡市総合振興計画基礎調査）で「居住環境に満足しているか」について「そう思う」「ややそう思う」と回答した市民の割合。

2 計画の評価・見直し

本計画の計画期間内（令和5年度（2023年度）からおおむね20年間）においては、施策の進捗状況、国の経済情勢、法制度の改正、国・県の施策の見直し、上位関連計画の見直しなど、様々な変化が想定されます。

そこで、PDCAサイクルの考え方に基づき、適切な進行管理を行い、おおむね20年後の目標年次に向けて継続的な取組を行っていきます。

進行管理に当たっては、おおむね5年ごとに目標指標の達成状況や誘導施策の進行状況の評価・検証を行い、その結果や社会情勢・上位関連計画等の改定を踏まえ、必要に応じ本計画の見直しを行います。

《進行管理のイメージ図》

